

倫理規定¹

アセットマネジメントの実務家として、私たちはその知識とスキルを地域社会の利益のために活用し、持続可能な未来のためのアセットマネジメントソリューションを創造します。そうすることで、私たちは、他の個人的な関心事や部門的な関心事よりも先に、地域社会に奉仕するように努めています。

当社の倫理綱領は、アセットマネジメント業務における意思決定を形成する価値観と原則を定義しています。関連する「プロフェッショナル行動ガイドライン」は、ワールド・パートナーズ・イン・アセット・マネジメント（WPiAM）のメンバーが資産運用の実務において判断力を発揮する際のフレームワークを提供しています。

アセットマネジメントの実践：

1. 誠実さを示す

- 1.1 良心に基づいて行動する
- 1.2 正直で信頼できる人であること
- 1.3 すべての人の尊厳を尊重する

2. よく演習する

- 2.1 知識・技術の維持・発展
- 2.2 自分の能力領域を客観的に表現する
- 2.3 十分な知識に基づいて行動する。

3. リーダーシップを発揮する

- 3.1 資産運用の実務の評判と信頼性を高める
- 3.2 多様性を支援し、奨励する
- 3.3 アセットマネジメントの専門知識に依存する他者を考慮し、すべての利害関係者と誠実かつ効果的にコミュニケーションを図るための合理的な努力を行う

4. 持続可能性の推進

- 4.1 地域社会やその他の利害関係者と責任を持って関わる

¹ Engineers Australia Code of Ethics and Guidelines on Professional Conduct より引用：2019年11月

4.2 地域社会と環境の健康、安全、福祉を促進するためのアセットマネジメントを実践する

4.3 現在のニーズと将来のニーズのバランスをとる

職業上の行動に関するガイドライン

本ガイドラインは、WPiAMのメンバーが利用するための枠組みを提供するものです。

本ガイドラインは、倫理規定の遵守と不遵守を構成する状況や状況の完全なまたは網羅的なリストを意図したものではなく、また、そう解釈されるべきではありません。そのように求められた場合、会員は、規範の規定または精神からの逸脱を正当化することが期待されている。

倫理的な資産運用の実践では、文脈の中での判断、解釈、バランスのとれた意思決定が求められます。

WPiAMは、私たちの倫理的価値観と原則は永続的ではあるが、許容される行動の基準は恒久的に固定されていないことを認識しています。コミュニティの基準と、資産運用の実践とメンバーの行動の要件と願望は、より一般的に、時間の経過とともに発展し、変化していくものです。

最低限、会員は、コンピテンシー、継続的な専門能力開発、倫理規定に関するWPiAMの方針と手順に沿って実践しなければなりません。限界の範囲内で、何が許容される行動となるかは、個々の状況の性質にもよるかもしれません。

コンプライアンス違反の申し立てについては、その都度評価し、懲戒規定に基づいて対応します。

1 誠実さを示す

1.1 良心に基づいて行動する

- (a) 自身が正しいと信じることを実行する
- (b) 公平、客観的に行動する
- (c) 何か変だと思ったら、プロとして行動する
- (d) すべての法的、契約上および雇用上の義務を重視します。
- (e) 得意分野で行動する

1.2 正直で信頼できる人であること

- (a) 批判を受けた場合は誠実・正直に対応する
- (b) 常に理由を説明できるよう準備しておく
- (c) 信頼関係を構築する
- (d) 認識されている利益相反を管理する際には、それらの相反が関係者に開示されていることを確認する
- (e) 明示または黙示を問わず、守秘義務を尊重する
- (f) 詐欺、汚職、犯罪行為をしてはならない

1.3 すべての人の尊厳を尊重する

- (a) ハラスメントや差別をしない
- (b) 人種、宗教、性別、年齢、性的指向、配偶者や家族の有無、国籍、心身の能力などに偏りなく知識と技術を適応する

2 よく演習する

2.1 知識や技術の維持・発展

- (a) 関連する知識と専門知識を発展させ続ける
- (b) 誠実によく細部を確認する
- (c) 査読を求める
- (d) 他者の発展を支援する
- (e) 専門家の継続的な開発を維持する

2.2 能力のある分野を客観的に表現する

- (a) 実務をこなす。
- (b) 資格、会員の等級、経験、またはこれまでの責任を偽ったり、虚偽の表示をしたりしないこと

2.3 十分な知識に基づいて行動する

- (a) 法的要件、法的要件、および資産運用業界で受け入れられているその日の基準に沿って業務を行う
- (b) 自分の専門外の資格や経験を必要とする仕事の場合は、雇用者や顧客に伝える

3 リーダーシップを発揮する

3.1 資産運用の実践の評判と信頼性を高める

- (a) 倫理的実践の拡大を提唱し、支援する
- (b) 議論と議論を交わす

3.2 多様性を支援し、奨励する

- (a) すべてのアセットマネジメント実務者およびその他のチームメンバーを、メリットに基づいて選定し、機会を提供する。
- (b) 資産運用の多様性を促進する

3.3 アセットマネジメントの専門性を他者に依存することを考慮し、すべてのステークホルダーとの誠実かつ効果的なコミュニケーションを図るための合理的な努力を行う。

- (a) アセットマネジメントサービス、コスト、成果、リスクなどの問題について、明確かつタイムリーなコミュニケーションを提供します。

4 持続可能性の推進

4.1 地域社会やその他の利害関係者と責任を持って関わる

- (a) 公共の懸念事項にセンシティブである
- (b) 提案された活動が地域社会や環境に及ぼす可能性の高い影響について、雇用者や顧客に通知する
- (c) すべての利害関係者と地域社会が、彼らや環境に影響を与える可能性のある意思決定やプロセスへの関与を促進する

4.2 地域社会と環境の健康、安全、福祉を促進するためのアセットマネジメントを実践する。

- (a) 社会的、文化的、健康、安全、環境、経済的配慮を資産運用活動に取り入れる

4.3 現在のニーズと後世のニーズのバランスをとる

- (a) 持続可能な結果を特定する際には、経済的、環境的、社会的影響の観点からすべての選択肢を検討する
- (b) 現在享受しているのと同じかそれ以上の環境、健康、福祉、安全を将来の生活で享受する能力を損なうことのない結果を提供することを目指す

Chair of Board of Directors

World Partners in Asset Management

October 2020